

令和2年度 全国保健師長会活動方針

今日の少子高齢化により、我が国は世界に類を見ないスピードで超高齢社会を迎えており、その対応策として、地域住民による支え合いの取組を通じて、高齢者を含め支援が必要な人を地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築が推進されています。

これは、まさに、地域において個別課題を地域課題と繋げ、住民とともに新たな社会資源の創出に取り組んできた、保健活動そのものであり、地域包括ケア推進における保健師の果たすべき役割は重要なものとなっています。

また、保健師は地震や豪雨等大規模な災害発生時においても、いち早く現地に赴き、被災者に寄り添い必要な健康支援を行っており、その姿が広く認識されているところです。

さらに、虐待防止対策、貧困対策、自殺予防対策、生活習慣病対策、健康格差への対応等、保健師は、行政組織の中で最も住民に身近な医療専門職としての役割が期待されています。

全国保健師長会は、保健師がこれら社会の期待に応えられるよう『保健師活動の原点から住民とともに創る未来』を合言葉に、保健医療福祉や産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化しながら、各ブロック活動の充実強化や調査研究事業等の推進を図り、次世代を担う保健師の成長を支援することにより、保健師職全体の専門性向上を図ってまいります。

令和2年度全国保健師長会活動テーマ

“未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”

～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～

令和2年度活動方針

1 より専門性の高い公衆衛生活動の推進

- 各自治体の公衆衛生看護活動や人材育成の取組を効果的に推進するため、統括的な役割を果たす保健師の役割を明確にする。
- 保健師が地域に責任を持って活動しやすい環境整備を推進する。
- 保健師の現任教育の充実に向けた取組を推進する。

2 ブロック、支部活動のより効果的な推進

- 効果的な保健師活動や人材育成等の取組などに関する情報交換・研修等を活発に行い自主的な活動を推進する。

3 各自治体の災害時対策における保健師機能発揮に向けた取組の促進

- 「災害時における保健師活動マニュアル」の活用を促し、各自治体の災害時対策の取組強化に寄与する。
- 被災地における保健師活動について、情報発信する。

4 活動の安定的推進に向けた組織運営の充実

- リーダー的立場の保健師の入会を促進するとともに、組織の安定的な運営体制を充実する。